

(様式1)

# 教育研究業績書

2022年5月1日

氏名 小野 智恵美

研究分野

学位

臨床看護学

修士(看護学) 埼玉医科大学大学院

研究内容のキーワード

がん看護学 乳がん看護 がん化学療法看護 がん教育

教育上の能力に関する事項

事項

年月日

概要

1. 教育方法の実践		
・「がん患者に対する医療チームカンファレンスの実践」演習	平成28年9月2・3日	帝京大学医療技術学部の3学部(医学部, 薬学部, 看護部) 合同に肺がん患者模擬カンファレンスを実演した。学部を超えて意見交換ができるように取り組んだ。
・「がん治療における副作用対策・看護師の実践」講義	平成28年12月2日	帝京大学大学院医療技術研究科看護学大学院生2名に、患者に配布する資料を活用して、がん診療連携拠点病院の「がん看護」を解説した。
・「看護専門外来の見学を組み込んだ成人看護学実習」実習担当	平成31～令和元年度	西武文理大学の成人看護学実習において、対象の健康レベルに即した高度実践看護を見学、考察し、学生の患者支援に活かす実習を行った。

2. 作成した教科書、教材		
①「乳がん」パンフレット本の作成	平成21年6月	①②④は帝京大学医学部附属病院の看護師専門領域「がん看護研修」で活用、継続使用した。 ③は帝京大学医学部附属病院の初期研修医研修、院内認定「輸液療法看護師」IVナースの研修で活用、継続使用した。
②「化学療法を受ける患者さんへ」パンフレット本の作成	平成21年6月	
③「輸液療法(血管確保と輸液管理)」手順書作成	平成22年4月	
④「リンパ浮腫予防指導」パンフレット作成	平成27年10月	

3. 教育上の能力に関する大学等の評価		
---------------------	--	--

4. 実務の経験を有する者についての特記事項		
(市民公開講座講演)		
・第3回「患者と医療の架け橋」順天堂医学部附属順天堂医院	平成23年3月17日	がん患者と家族、医療者100名にがん患者交流スペースの運用や活動について講演した。
・「がん最新資料」としまコミュニティ大学 家庭の医学	平成23年12月17日	がんチーム医療、がん化学療法について、医療者とのコミュニケーションについて講演した。
・第5, 6, 7回「乳がん市民公開講座」帝京大学医学部附属病院	平成23年11月12日 平成25年1月19日 平成26年10月25日	乳がん最新治療に対する副作用予防対策、患者向けガイドラインの紹介、日常生活のケアについて講演した。
(シンポジウム等の講演など)		
・乳がんにおけるチーム医療 第11回日本医療マネジメント学会(長野支部)	平成24年5月22日	「乳がん治療」チーム医療の最新情報の共有について学術集会ランチョンセミナーで講演した。
・乳がん患者のリワーク支援 第18回日本看護管理学会(愛媛)	平成26年8月29日	乳がん患者のリ・ワーク支援の現状について学術集会ランチョンセミナーで講演した。
・乳房再建術を受ける患者の支援 第4回オンコプラスティックサージャリー学会	平成28年10月6日	乳房再建術を受ける乳がん患者への看護支援について、学会の第1回看護セミナーで講演した。
・全国Web講演「がん化学療法の副作用マネジメントにおける看護師の役割」武田薬品主催	平成28年11月11日	化学療法の過敏症・末梢神経障害・血管外漏出の看護師の取り組みをWeb配信で講演した。

職務上の実績に関する事項

事項

年月日

概要

1. 資格、免許等		
・看護師免許	平成13年4月20日	
・乳がん看護認定看護師認定	平成21年6月1日	令和1年度：2回目更新
・がん看護専門看護師認定	平成28年11月28日	令和2年度：1回目更新

2. 所属学会		
・日本乳癌学会会員:平成20年3月	・日本がん看護学会会員:平成20年3月	・日本癌治療学会会員:平成21年8月
・日本オンコプラスティックサージャリー学会会員:平成21年9月	・日本CNS学会会員:平成28年2月	・埼玉BCN護研究会世話人:令和2年4月

3. 実務の経験を有する者についての特記事項(社会活動)		
・東京都看護協会「看護フェア」	平成22～30年度	看護フェアで乳房自己検診指導を担当した。
・板橋区シティマラソン「乳房自己検診指導ブース担当」	平成24～27年度	マラソン会場で乳房自己検診指導を担当した。
・がん治療と仕事の両立支援リモート・セミナー「がん医療情報を活用する上での課題と、がん患者と家族へのサポートを考える」	令和2年11月	がん患者さんや家族に必要な、がん医療情報リテラシーをWebセミナーで講演した。

(様式2)				
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1. 知っておきたい薬のハンドブック「ゴセレリン酢酸塩」「リュープレロリン酢酸塩」	共著	平成29年3月	知っておきたい薬のハンドブック p74-75, p190-191	ゴセレリン酢酸塩、リュープレロリン酢酸塩の薬剤と看護のポイントについて解説した。 小野智恵美
(学術論文) 1. 抗がん剤治療を受ける患者の血管外漏出の現状と課題	共著	平成30年2月	看護技術64(2)82-86	抗がん剤の血管外漏出の発生要因をアクシデントレポート集計から分析して結果を報告した。 小野智恵美、水谷美帆、甲山真樹
2. エピルビシン投与による静脈炎に対するSub-Route法での軽減効果の検討	共著	平成24年5月	癌と化学療法 39(5):777-781 査読あり	静脈炎を発症させるエピルビシンの投与方法の検討をした。投与方法の工夫前後の比較調査を行い、結果を報告した。 小野智恵美、山上充江、釜谷麗華、他8名
3. ラットにおける壊死性抗がん剤の漏出皮膚障害に関するステロイド局所注射の効果	共著	平成24年4月	癌と化学療法 39(4):577-582 査読あり	ラットの皮下組織に抗がん剤を注射したのち治療をした。症状の経過と治療薬の効果など観察した。ラットの組織状態など経過を報告した。 杉本雅和、小野智恵美、池田正、他10名
4. 乳房切除を受けた患者の補整に対する支援	単著	平成23年3月	臨床看護 37(3):385-388	乳房切除術を受けた患者30名に保冷剤を用いて乳房パットを作成指導した。使用した患者30名のアンケート結果を報告した。 小野智恵美
5. Prevention of Pain and Phlebitis Caused by Epirubicin Hydrochloride	共著	平成21年6月	癌と化学療法 36(6):969-974 査読あり	エピルビシンの静脈炎を予防するための点滴の投与方法を検討し、その際の薬剤配合変化やpH値の基礎研究結果の報告をした。 杉本雅和、小野智恵美、池田正、他11名
(学会発表、講演など) 1. 高校生への「がん教育」～がんを理解して支えあえる社会について主体的に考える～の取り組み	共著	令和3年9月	第26回日本臨床死生学会年次大会(Web)	高校生へのがん教育の取り組みや高校生から得られた反応を報告した。 小野智恵美、山田秀樹、小寺栄子、他3名
2. 乳がん集学的治療を経験した女性の妊娠・出産の困難を乗り越える要因	共著	令和3年3月	第35回日本助産学会学術集会(Web)	乳がん集学的治療の後に、出産をされた方にインタビュー調査を行い結果を発表した。 小野智恵美、大賀明子、畑野花奈
3. 末梢静脈注射による抗がん剤治療を受ける患者の血管外漏出の現状と課題	共著	平成29年10月	第55回日本癌治療学会学術集会(横浜)	抗がん剤血管外漏出のアクシデントレポートを分析して結果と今後の課題を報告した。 小野智恵美、水谷美帆、甲山真樹
4. 外来通院中の乳がんサバイバーにおける職業復帰に対する不安	共著	平成28年2月	第30回日本がん看護学会学術集会(幕張)	外来通院中の乳がんサバイバーに職業復帰に関するアンケート調査結果を報告した。 小野智恵美、杉本雅和、池田正、他1名
5. 乳房再建術を希望する患者への支援の必要性について	共著	平成26年7月	第22回日本乳癌学会学術総会(大阪)	乳房再建術を希望する患者の抱える苦悩と看護介入の必要性を報告した。 小野智恵美、古地順子
6. 乳がん看護認定看護師による「サイパンマラソン2011」乳房自己検診指導の取り組み	共著	平成24年6月	第20回日本乳癌学会学術総会(熊本)	サイパンマラソン大会で、乳房自己検診指導を行った認定看護師の取り組みを報告した。 小野智恵美、荒堀有子、加藤牧子、他9名
7. 外来化学療法受療中患者の治療に貢献する疼痛スクリーニングのプロセスつくりと効果	共著	平成24年2月	第26回日本がん看護学会学術集会(島根)	化学療法中の患者に疼痛スクリーニングを行い、疼痛改善の有無等の調査結果を報告した。 小野智恵美、大和田康子、廣瀬瑞徳
8. エピルビシン塩酸塩投与の血管炎に対する対策と評価	共著	平成22年10月	第48回日本癌治療学会学術集会(京都)	エピルビシン塩酸塩投与による血管炎への対策前後の比較して結果を報告した。 小野智恵美、江口研二、池田正、他7名
(その他) 1. リンパ浮腫に対する緩和治療「リンパ管吻合術」	共著	平成27年2月	プロフェッショナルがんナーシング P68-69	リンパ浮腫に対するリンパ管細静脈吻合術の治療と看護を解説した。 小野智恵美
2. 乳がん最新知識「検査・治療の変化に伴い、乳がん看護はどう変わるべきか」	共著	平成23年6月	臨床看護p942-946	「乳がん」最新の検査・治療の看護を解説した。 小野智恵美
3. 緩和医療 特集乳がん	共著	平成21年6月		乳がんが進行した際のケアについて解説した。 高野利実、江口研二、小野智恵美